

次により、公募型指名競争入札（期間入札）を行いますので、地方自治法、地方自治法施行令、高松市契約規則、高松市契約事務処理要綱、高松市公募型指名競争入札試行要領、高松市期間入札試行要領、期間入札（試行）に関する留意事項、入札参加者の心得、契約条項その他指示事項を遵守の上、参加希望者は必要書類を持参又は郵送してください。

なお、提出された書類は、指名業者選定に当たっての参考資料であり、必要書類の受領が直ちに指名につながるものではありません。

公募型指名競争入札の解説等

- ・ 入札に参加を希望する者の受注意欲を確認した上で指名する入札方法で、発注案件ごとに希望を募り、入札参加申請書を提出した者のうちから、その案件で設定された履行実績その他の入札参加条件を満たす者を指名し、入札を行う方法です。
- ・ 高松市公募型指名競争入札試行要領は、高松市ホームページ(もっと高松)のトップページから「事業者の方」→「入札・契約情報」→契約監理課ホームページの「例規・要綱等」に掲載しています。
- ・ 参加希望者が案件で指名を受けるためには、その前段階として、下記により、公募型指名競争入札参加申請書等の必要書類を令和8年7月16日（木）までにデジタル戦略課に提出する必要があります。御注意ください。
- ・ 表中下線を付しているものは、対象文書をダウンロードすることができます。

1 件 名	RPA ソフトウェアライセンス調達業務、RPA シナリオ構築及び RPA シナリオ保守業務
2 納 入 場 所	高松市番町一丁目8番15号 高松市防災合同庁舎7階 デジタル戦略課
3 履 行 期 間	(1) RPA ソフトウェアライセンス調達業務 契約締結日から令和8年8月31日（月）まで (2) RPA シナリオ構築業務 契約締結日から令和9年1月31日（日）まで (3) RPA シナリオ保守業務 令和9年1月1日（金）から令和9年3月31日（水）まで
4 最 低 制 限 価 格	設定しない
5 予 定 価 格	非公表
6 入 札 保 証 金	免除
7 契 約 保 証 金	要 【注意事項】(13)を参照のこと。 高松市契約規則第24条各号のいずれかに該当する場合はこの限りでない。
8 支 払 条 件	完了払（適法な請求書を受理した日から30日以内に支払う。）
9 入 札 参 加 条 件	(1) 高松市公募型指名競争入札試行要領第4条第1項第1号及び第5号から第7号までに掲げる要件を満たすこと。 (2) 国、香川県及び高松市税の滞納がないこと。 (3) 申請日現在、高松市の令和8年～10年の物品・委託・役務の提供等競争入札参加資格者名簿の業種名「事務用機器類」の営業種目「コンピュータ機器類」、「コンピュータ機器類消耗品」又は「システムの設計・開発」に搭載されていること。 (4) 高松市指名停止等措置要綱（平成24年高松市告示第403号）に基づく指名停止期間中でないこと。 (5) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77

		号) 第32条第1項各号に掲げる者でないこと。 (6) 指名を受けた者が入札までに入札参加条件を満たさなくなったときは、入札に参加できない。 (7) 過去5年以内に、国又は地方公共団体において、RPAツールを用いた入力業務のシナリオの構築又はこれに準ずる業務に関する契約を直接締結し、履行、完了した実績を有する者であること。
10	入札参加申請	入札参加を希望する者は、<u>公募型指名競争入札参加申請書(様式1)</u>、9(7)の入札参加条件を満たすことが確認できる書類(実績を確認することができる契約書等の写し)を持参又は郵送により提出すること。 (1) 持参の場合 高松市防災合同庁舎7階 デジタル戦略課に持参すること。 (2) 郵送の場合 一般書留又は簡易書留により「25 問合せ先」まで郵送のこと。
11	参加申請書提出期間	令和8年7月13日(月)から同年7月16日(木)まで (日曜日、国民の祝日を定める法律に規定する休日及び土曜日を除く)。 (1) 持参の場合 午前9時から午後5時まで。 (2) 郵送の場合 上記期間最終日午後5時必着。
12	指名(非指名)通知	(1) 通知は、令和8年7月21日(火)午後5時までにメールで送信する。 (2) 指名した者には指名通知書を、指名しなかった者には指名しなかった理由を送信する。
13	仕様書	<u>仕様書</u> のとおり。
14	現地説明	実施しない。
15	質問及び回答	(1) 指名通知を受けた者が、本業務の内容に質問がある場合は、<u>質問書(様式2)</u>を利用し、「RPAソフトウェアライセンス調達業務、RPAシナリオ構築及びRPAシナリオ保守業務」という件名にて、令和8年7月22日(水)午前9時から同月24日(金)正午まで(土日を除く)。に「25 問合せ先」に記載のメールアドレスまで送信すること。 ※ 担当者2名に宛てて送ること。 ※ 電話及び口頭での質問は受け付けない。 ※ 指名通知を受けた者以外からの質問は受け付けない。 (2) 電子メールの到着確認として、本市に届いたら、届いた旨を返信する(午後5時以降及び閉庁日の場合は翌開庁日)。到着確認のメールが届かない場合は、電話にて問い合わせること。 (3) 受け付けた質問に関する回答は、問合せ事業者名を伏せて、指名通知を受けた者全者に、令和8年7月29日(水)午後5時までに電子メールで回答する。 仕様書同様、これを熟知の上入札すること。 ※ 回答が遅れる場合は、その旨通知する。 (4) 次の書類間に相違がある場合の優先順位は、次の①から③までの順番とし、これにより難しい場合は、発注者と受注者が協議して定めるものとする。 ① 契約書 ② 質問に対する回答書 ③ 仕様書
16	入札書提出方法及び提出先	提出期間 令和8年7月28日(火)から同月30日(木)まで (1) 持参の場合 午前9時から午後5時まで。 (日曜日、国民の祝日を定める法律に規定する休日及び土曜日を除く)。 (2) 郵送の場合 上記期間最終日午後5時必着。

	提 出 先	〒760-8571 香川県高松市番町一丁目8番15号 高松市役所防災合同庁舎7階 デジタル戦略課
	注 意 事 項	(1) 入札に参加できるのは、指名通知を受けた者のみとする。 (2) 件名は「RPAソフトウェアライセンス調達業務、RPAシナリオ構築及びRPAシナリオ保守業務」とすること。
17 開 札	日 時	令和8年7月31日（金）午前10時
	場 所	高松市防災合同庁舎7階 システム検討室
18 再度入札書 提出方法及 び 提 出 先	実 施 の 有 無	有。実施の際は、入札参加者（辞退者及び失格者を除く。）に対し、令和8年8月4日（火）午後5時までに、メールにて通知する。 ただし、初回の入札において、無効の入札をした者又は失格となった者は、再度入札に参加する権利を持たないため通知しない。
	提出期間	令和8年8月5日（水）から同月7日（金）まで (2) 持参の場合 午前9時から午後5時まで。 (日曜日、国民の祝日を定める法律に規定する休日及び土曜日を除く)。 (2) 郵送の場合 上記期間最終日午後5時必着。
	提 出 先	〒760-8571 香川県高松市番町一丁目8番15号 高松市役所防災合同庁舎7階 デジタル戦略課
19 再度開札	開札日時	令和8年8月10日（月）午前10時
	開札場所	高松市防災合同庁舎7階 システム検討室
20 試 行 要 領 等	(1) 高松市公募型指名競争入札試行要領 (2) 高松市期間入札試行要領 (3) 期間入札（試行）に関する留意事項 ※ 契約監理課ホームページの「例規・要綱等」及び「その他お知らせ」期間入札について」からダウンロードできます。	
21 入 札 参 加 者 の 心 得	<u>入札参加者の心得</u>	
22 委 任 状 ・ 入 札 書 等	<u>入札書（様式3） 積算内訳書</u> <u>委任状（様式4）：委任しない場合は提出不要。</u> <u>入札書封筒の表（おもて）に貼り付ける様式（様式5）</u> <u>委任状及び入札書の記載例</u>	
23 契 約 条 項	<u>契約書のとおり。</u>	
24 入 札 の 辞 退	指名通知を受けた者が、入札を辞退するときは、辞退理由を付した <u>辞退届（様式6）</u> を、「25 問合せ先」に直接持参するか郵送（入札日前日までに到着）すること。	
25 問 合 せ 先	〒760-8571 香川県高松市番町一丁目8番15号 高松市総務局デジタル推進部デジタル戦略課（高松市防災合同庁舎7階） 担当 横関・岡本 電話 087-839-2172 F A X 087-839-2169 メールアドレス ryotaro_11248@city.takamatsu.lg.jp（横関） yuuki_8757@city.takamatsu.lg.jp（岡本）	

26 そ の 他	落札者の決定後、「RPAソフトウェアライセンス調達業務」「RPAシナリオ構築業務」「RPAシナリオ保守業務」の業務ごとに契約を締結します。
----------	---

- ・ 関係規則及び要綱は、高松市ホームページ(もっと高松)のトップページから [事業者の方] → [入札・契約情報] → 契約監理課ホームページの「例規・要綱等」に掲載しています。

【業務の概要】

本業務は、窓口支援システム（窓口 DXSaaS）の導入に伴い、RPA のライセンス調達、住民記録システム連携用のシナリオの構築及び稼働後の保守を実施するものである。

【注意事項】

- (1) 地方自治法、地方自治法施行令、高松市契約規則、高松市契約事務処理要綱、高松市期間入札試行要領と期間入札（試行）に関する留意事項、入札参加者の心得、契約条項及びその他指示事項を遵守の上、入札に参加すること。
- (2) 「期間入札」とは、指定期間内に郵送又は持参により入札書を提出して行う入札をいう。高松市期間入札試行要領、期間入札（試行）に関する留意事項を熟読の上、参加すること。特に、同留意事項は、「別記（入札書を提出する際のチェックポイント）」をはじめ、重要事項を記載している。
- (3) 指名通知を受けた者が、次のいずれかに該当する場合は、その指名を取り消すものとする。
 - ア 地方自治法施行令第167条の4第1項に規定する者に該当することとなったとき。
 - イ 経営・資産・信用等の状況に変動があり、契約の履行がなされないおそれがあると認められたとき。
 - ウ 高松市指名停止等措置要綱（平成24年高松市告示第403号）の規定により指名停止を受けたとき。
 - エ その他職員の指示を守らなかったとき。
- (4) 入札の無効等については、地方自治法施行令第167条の11第1項において準用する同令第167条の4並びに高松市契約規則第17条において準用する同規則第5条及び第12条の4、高松市期間入札試行要領と期間入札（試行）に関する留意事項並びに入札参加者の心得による。
- (5) 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する金額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額）をもって契約金額とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額（入札金額）を入札書に記載すること（入札金額は整数とすること。）。
- (6) 開札は、入札期間の末日の翌日（市の執務日）に行う。開札の立会いを希望する者は、開札予定時刻の10分前までに、期間入札に係る開札立会申込書（「高松市期間入札試行要領」様式第2号）をデジタル戦略課に持参により提出しなければならない。開札場所への入室は、開札の15分前から行うので、開札当日に提出する場合、午前9時45分以降は、開札場所に持参すること。再度入札の場合も同じ。
- (7) 入札参加資格者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為をしないこと。
- (8) 正当な理由なく、職員の指示を守らなかった場合は、その指名を取り消すものとする。
- (9) 落札者が契約締結日までの間において、高松市指名停止等措置要綱（平成24年高松市告示403号）による指名停止をされた場合は、契約を締結しないことがある。また、落札の取り消しについては、高松市契約規則第14条の5の例によるものとする。
- (10) (9)により契約を締結しないこととした場合には、市は、一切の損害賠償の責めを負わない。
- (11) 契約に当たっては、「23 契約条項」の契約書により契約を締結する。落札者は、落札後、速

やかに、記名押印した契約書を提出しなければならない。

- (12) 落札者が免税事業者である場合、落札者決定後3執務日以内に、デジタル戦略課に「免税事業者届出書」を提出しなければならない。期限までに提出がない場合、本市は落札者を課税事業者として取り扱う。
- (13) 契約保証金は次に定めるところによる。
- ア 落札者は、契約の締結時に、契約金額の100分の10に相当する額以上の契約保証金を納付し、又はこれに代わるべき担保（高松市契約規則第23条において準用する同規則第8条第2項）を提供しなければならない。ただし、契約保証金の全部又は一部を免除された場合は、この限りでない。
 - イ 契約保証金には利子を付さないものとする。
 - ウ 落札者が契約上の義務を履行しないときは、契約保証金又はその納付に代えて提供した担保は、市に帰属する。
- (14) 市長は、緊急やむを得ない理由により、入札を行うことができないと認めるときは、本入札を停止し、中止し、又は取り消すことができる。この場合において、本入札参加者が損害を受けることがあっても、市長は、その責めを負わない。
- (15) 令和4年1月1日から、行政手続に係る押印等の見直しに伴い、入札参加申請書及び入札書の押印の義務付けを廃止したことから、押印に代えて責任者等の氏名及び連絡先の記載を可とする。押印のない入札参加申請書又は入札書を提出する場合は、入札参加申請書又は入札書の余白に、責任者（事務を担当する部門長）の氏名及び担当者の氏名をフルネームで記載し、更に連絡先として電話番号（固定電話。設置していない場合は携帯電話）を記載すること。なお、押印がなく、上記の記載がない場合は無効となる。

【入札金額等の記載要領】

- (1) 入札書は市指定様式によるものとし、指定の「積算内訳書」を添付してください。
「積算内訳書」が添付されていない場合及び市の指定様式以外によるものの場合は無効とします。
- (2) 次に記載のとおり、積算内訳書のNo①からNo③までの各業務の合計金額（消費税及び地方消費税抜き）を入札金額としてください。
- ア 積算内訳書のNo①からNo③の各業務について、入札者が消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、契約希望金額の110分の100を乗じて得た金額を整数で記載してください。
 - イ No③の「RPAシナリオ保守業務」については、月額及び3か月分の金額を記載してください。
 - ウ 積算内訳書のNo①からNo③までの各業務の合計額を「合計」に記載してください。
- (3) 次のいずれかに該当する場合は、無効とします。
- ア 入札書に記載された金額と「積算内訳書」に記載された合計金額が不整合であるもの
 - イ 「積算内訳書」に記載のないもの又は記載された金額に積算誤りのあるもの
 - ウ 「積算内訳書」の金額の算定が(2)に規定する方法によらないもの

【高松市指名停止等措置要綱別表第26号の運用基準】

平成24年6月1日から、高松市指名停止等措置要綱の別表の措置要件第26号にある「業務に関し不正又は不誠実な行為」について、これに該当する行為を例示する告示を下記のとおり定め公表していますので御留意ください。

高松市指名停止等措置要綱別表第26号を適用し指名停止をする場合の運用基準(抄)

- 1 要綱別表第26号の「不正又は不誠実な行為」とは、中央公共工事契約制度運用連絡協議会による「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領中央公共工事契約制度運用連絡協議会モデルの運用申合せ」の例によるもののほか、有資格業者である個人又は有資格業者の役員若しくは使用人の、その業務に関する次に掲げる行為その他の著しく信頼関係を損なう行為をいう。
- (1) 予定価格、最低制限価格等の秘密情報の提供を要求する行為等入札の公正を害すべき行為
 - (2) 入札に参加するに際し担当職員の指示に従わない等入札の秩序を乱す行為
 - (3) 監督又は検査の実施に当たり市職員の職務執行を妨げる行為
 - (4) 市職員に対する脅迫的な言動又は暴力的な行為
 - (5) 執拗な抗議等を行い、市職員の職務を妨害する行為
 - (6) 暴力団等から不当要求行為を受けた場合の報告義務違反
 - (7) 市職員による経理上の不正又は不当な行為への関与

【不当要求行為排除について】

市では、受注者（市との契約の相手方）が暴力団等から不当要求行為を受けた場合や当該不当要求行為による被害を受けた場合の、市への報告と所轄警察署への届出等を契約書において受注者の遵守事項として定め、市が発注する物品の買入れ等からの暴力団等の排除対策の強化を進めています。詳しくは、契約監理課ホームページを御参照ください。

(もっと高松トップページ (<https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/>) >> 事業者の方 >> 入札・契約情報 >> 契約監理課ホームページ)

【周知事項】

- (1) 納入に際しては、納品書を提出してください。
- (2) 受注者の責めに帰すべき事由によりやむを得ず履行期間の始期以降に履行を開始する場合の手続きは、高松市契約規則、高松市契約事務処理要綱及び契約書に定めるもののほか、次の通りです。
 - ア 履行期間の始期までに履行できないおそれがあり、その全部又は一部について延長する必要があると判断した場合は、あらかじめ履行期間延長承認申請書を市長に提出し、その承認を受けなければなりません。
 - イ アにより承認を受けた期限までに履行することが更に困難となったとき、又は履行することができなかったときは、再度履行期間延長承認申請書を市長に提出し、その承認を受けなければなりません。
 - ウ 履行期間の始期までに履行期間延長承認申請書を提出しなかったときは、市と協議し、その指示に従うこと。
- (3) 参加申請をした者又は入札参加者が1者であった場合であっても、原則として、入札を有効なものとして執行するものとします。
- (4) 市と取引のある方及び市職員は、不正経理（架空の物品購入その他市の物品購入における経理上の不正又は不当な行為）を受け入れ、又はこれに関与することは禁止されています。市の職員から万が一、不正経理を求められた場合は、市の公益通報制度等により通報してください（窓口：総務局コンプライアンス推進課）。また、市の入札参加資格者名簿に登載された者が不正経理に関与した事実が明らかになった場合には、高松市指名停止等措置要綱による措置の対象となります。
- (5) (4) のほか、売買、賃借、請負その他の契約を市との間で締結し専ら当該契約に係る業務、事務等の履行中において、法令等に反する事実が生じ、又は生じるおそれがあると思料するときは、市の内部公益通報制度により通報することができます。
 - ※ 同制度における通報方法：電子メール又は書面を高松市公正職務審査会に提出（原則として提出者の氏名を明らかにする必要があります。）
 - ⇒ メールアドレス：naibu.tuho.shinsakai@nifty.com
 - 書面提出の場合の宛先：総務局コンプライアンス推進課内高松市公正職務審査会
 - ※ 市の内部公益通報制度について定めた「高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例」と同条例の施行規則（いずれも総務局コンプライアンス推進課所管）は、契約監理課ホームページに掲載しています。

【適正な労働条件の確保】

- (1) 労働関係法規を遵守及び適正な労働条件の確保に関しては、次によること。
所定労働時間については、労働基準法に基づき、工事の施工や業務の実施に当たっては、就労の実態を踏まえ、完全週休2日制の導入や1日の労働時間を縮減する等、法定労働時の週40時間（特別措置の適用を受ける事業にあつては、週44時間）を遵守すること。また、時間外、休日及び深夜（午後10時から翌日の午前5時まで）に、労働させた場合においては、同法に定める率の割増賃金を支払うこと。
- (2) 雇入れの日から起算して6か月間継続勤務し、全労働の8割以上出勤した労働者に対して、最低10日の年次有給休暇を付与すること。いわゆるパートタイマー労働者についても、所定労働日数に応じて年次有給休暇を付与すること。
- (3) 労働者の雇入れに当たっては、賃金、労働時間その他の労働条件を明示した書面を交付すること。
- (4) 賃金は毎月1回以上、一定の期日にその全額を直接、労働者に支払うこと。支払の遅延等の事態が起こらないよう十分配慮すること。賃金については、最低賃金法の定めるところにより最低賃金額以上の額を支払うこと。
- (5) 労働保険はもとより、労働者の福祉の増進のため健康保険及び厚生年金保険は法令に従い加入すること。なお、健康保険及び厚生年金保険の適用を受けない労働者に対しても、国民健康保険及び国民年金に加入するよう指導すること。
- (6) (1) から (5) までは定めるもののほか、労働基準法、労働安全衛生法ほか労働関係法規を遵守すること。

【関係規程について】

以上で引用している市の規則、要綱及びマニュアル並びに市の内部公益通報制度について定めた「高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例」と同条例の施行規則（いずれも総務局コンプライアンス推進課所管）は、いずれも契約監理課ホームページに掲載しています。

以上